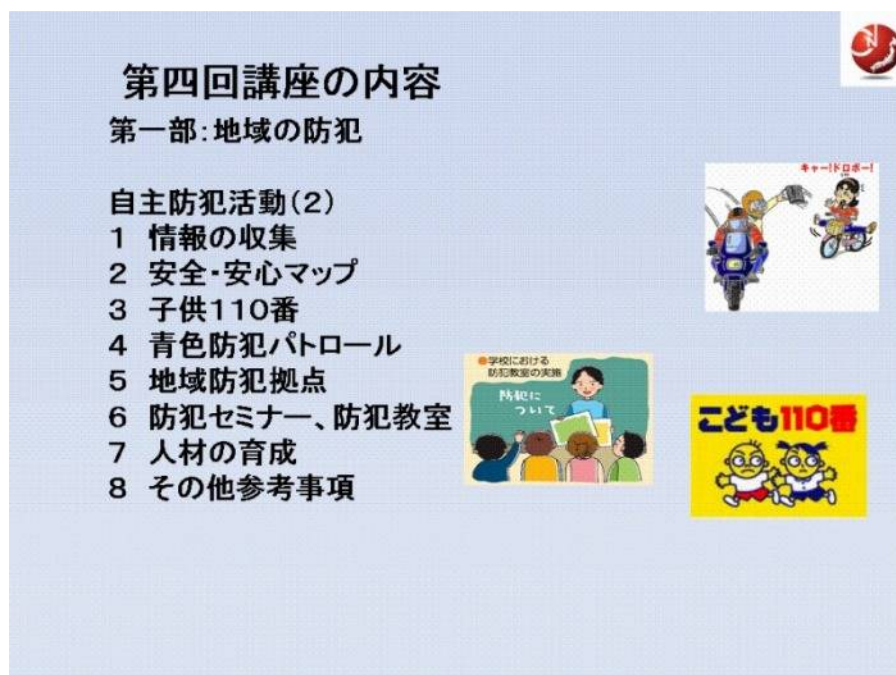


地域の防犯4 自主防犯活動(2)

第4回講座の内容はスライドの通りです。

前回に引き続き自主防犯活動について説明致します。

自主防犯活動を行う上での最も基本的な事である自分達の住む街の情報収集の方法や作成が推奨されている安全・安心マップに説明した後、自主防犯活動のティピカル化活動を見てみたいと思います。



第四回講座の内容

第一部:地域の防犯

自主防犯活動(2)

- 1 情報の収集
- 2 安全・安心マップ
- 3 子供110番
- 4 青色防犯パトロール
- 5 地域防犯拠点
- 6 防犯セミナー、防犯教室
- 7 人材の育成
- 8 その他参考事項

学校に對ける防犯教室の実際
防犯について

キッズ110番

こども110番

皆さんが地域における防犯活動を行うためには、まず地域の犯罪の発生状況がどのようになっているのかを知る必要があります。

どのような犯罪が、何処で、どれ位の頻度で発生しているのかを具体的に知らなければなりません。

そのような情報は所轄の警察署や交番で知ることが出来ますし、マスコミやインターネットでも調べることが出来ます。

また、タイムリーな犯罪に関する情報をも入手する必要があります。学校や自治体等が「安全・安心メール」を一斉に関係者に通報するという方法があります。

情報の収集について



地域犯罪情報の収集方法

- ①所轄警察署・交番等
 - ②県等からのお知らせや犯罪発生マップ等
 - ③テレビやラジオ等のマスコミ
 - ③ホームページ(行政、警察、民間)
 - ④構築されたポータルサイト
(タイムリーな情報入手法)
 - ⑤安全・安心メール(学校、自治体等)
- * エリアメール(後述)もあるが犯罪情報は含まず

ここでは、安全・安心メールについて説明します。

地域によって、名称は違う場合もありますが、基本的にはエリア内で発生した犯罪情報等を登録した携帯等に速報するシステムです。

災害に関する情報をも安全・安心メールで速報しているケースもあります。

皆さんお住まいの地域や学校区ではどのような安全・安心メールがあるのでしょうか？

安全・安心メール



- 警察・消防・各自治体が行う地域住民向けメール配信サービス
- 登録した携帯電話やパソコンに配信
- エリア内で発生した犯罪情報、ひったくりや強盗、振り込め詐欺、子供を狙った犯罪等の発生を速報
- 災害情報等が配信されるサービスもある。

安全・安心メールが登録した携帯やパソコンに速報されるのに対して、登録していな

いにかかわらず情報が送られてくる場合があります。

緊急地震速報を思い出して下さい。

震度5以上の地震が予期される場合、そのエリア内の携帯電話に自動的に送られてきます。ドコモでは、緊急地震速報に止まらず、自治体からの要請により災害や避難情報を発信しています。

ソフトバンクのエリアメールのサービス開始は、2012年2月から災害・非難情報を発信することとなっています。auについては不明です。

参考: エリアメール

The diagram illustrates the Area Mail service flow. It shows information from the government (地震情報) and disaster prevention centers (災害-避難情報) being sent to a disaster prevention center (気象庁 緊急地震速報). This information is then processed by a message distribution center (メッセージの配信処理を要請 エリアメールセンター docomo) and sent to mobile phones. The diagram also shows examples of emergency alerts on mobile phones, including earthquake warnings (緊急地震速報) and disaster/evacuation information (災害-避難情報). A list of features and conditions is provided below the diagram.

- 被災の恐れのあるエリアに一斉配信
- 携帯電話の画面にポップアップ表示します。
- 緊急地震速報と、災害・避難情報は、それぞれ異なる専用図像で、お知らせします。
- 登録メールボックスに専用アイコン表示で保存されます。※送信イメージ 受信イメージ
- ・お申し込み費
・通費料、月額定額料、情報料は無料

○対処エリア内の利用者限定
○無料、登録不要
○NTT: 2007年12月から運用開始
○緊急地震速報、災害情報、避難情報、テロ情報等
○NTTの回答によれば、犯罪情報は含まれていない。
○ソフトバンクのサービス開始: 2012年2月～

安全・安心マップなるものは、警察や自治体が作成して住民に情報提供する場合に使用されますが、住民自身が、自らの足で地域内を点検してそれを地図上に展開する場合もあります。

後者の方が住民自身の目と足によるものであり、よりきめ細かい情報が展開され、またその作成自体を通じて防犯意識の醸成に役立つものと期待されています。

どのように作成するかなどがWEBで公開されていますが、余り形式に捉われる必要はないでしょう。

安全・安心マップ



- 自治体や警察等が作成して住民に情報提供する場合に使用
- 住民自身・学校が、地域内を点検して収集した情報を地図上に展開して、実際の地域安全活動に役立てるために作成場合
(作成自体が防犯意識の醸成・向上に直結)
- 作成目的と使用目的の明確化
広報・周知or防犯活動の資料として活用
- 広報・周知の場合の活用に工夫
- 作成マニュアルがWEB上で種々公開されている。

子供 110 番の家を見掛けられることが多いのではないのでしょうか？
子供のための緊急避難所として位置づけられています。保護時の対応などの手引書が配布されているようです。
設置主体によって色々なマークがあるようですね。

こ(子)ども110番の家



- 子供のための緊急避難所設置の取り組み、及びその取り組みによって設置された避難所
地域ぐるみで子供たちの安全を守るボランティア活動
- 活動内容
 - ・救助を求めてきた子供等の保護
 - ・事件等認知時の110番通報、学校・家庭への連絡
 - ・危険箇所等発見時の連絡
- プライバシーの尊重、思いやりのある対応等
- 設置主体毎に独自マーク
- タクシー事業者が「こども110番のタクシー」等



青色回転灯を装着した乗用車を見掛けることも多くなりました。

それなりの効果が認められています。青パトの運用を考慮しておられる団体は、所轄の警察署に相談して下さい。

青色防犯パトロール(青パト)



○自主防犯活動の一環として、警察から認められた団体が、自動車に青色回転灯をつけて行う防犯パトロール

○2004年12月以降青色回転灯の装備化可

○所要の手続きが必要(警察署に要相談)

○定められたパトロール方法により実施

○実態調査結果によれば効果あり。



最近防犯や防災の面でコンビニが色々な役割を果たすようになってきました。帰宅困難者支援ステーションにもなっていますね。

期待されている役割、機能はスライドの通りであり、小学校区に1個程度が指定されるようです。

地域安全安心ステーション事業



- 平成17年度から開始した警察庁の事業
- 3つの機能
 - ①安全・安心パトロールの出動拠点
 - ②安全安心情報の集約・発信拠点
 - ③安全安心のための自主的活動の参加拡大の拠点
- 1小学校区に1個程度
- 選定には基準あり



注:消防庁が主体となっ
て行っている「地域安
心安全ステーション事
業」は地域における防
災活動拠点
('安心'の語彙が先)

コンビニの拠点化とは別に、コンビニ以外の施設が地域防犯拠点に指定されているケースもあります。

名称は様々ですが・・・

地域防犯拠点等



- 名称多様:地域安全センター、防犯拠点、地域防犯ステーション、地域安全ステーション等々
- 地域防犯連絡所(地域住民と警察等との連絡)
- 防犯パトロール、犯罪情報の発信、防犯に関する協議、等実施の拠点
- コンビニ防犯拠点制度(東京都)
市民の防犯パトロールの拠点としてコンビニを活用
(集合解散場所等、パトロール用具の保管等)
- 交番や駐在所単位等



地域住民の防犯に関する意識改革やノウハウの指導等のために各種の教育等が行われています。

自分達で教育しうる知見がなかったり講師がいない場合もあるでしょう。
そのような場合は防犯協会や警察等に相談されたら宜しいでしょう。

防犯・安全教育・セミナー



- 狙い:防犯意識の醸成、(防犯に係るノウハウ)
- 共同開催(PTA、自治会、警察・防犯協会等)
- 輕易且つ頻々と実施
- 講師派遣依頼
- 対象別教育・セミナー
(幼児、児童、高齢者、女性etc)
- 実体験的教育の実施
- 危険予知能力と危機回避能力の涵養



自主防犯活動の中核になる人材の育成・養成が必要です。
ボランティア活動が長続きし、効果的な活動が行えるためにはリーダーとなるべき人材
が欠かせません。
その佳な人材育成の各種プログラムもあります。

地域防犯リーダー等



- 関係機関の講習参加→防犯リーダー
- 地域防犯の中核
- 地域により名称多様
 - ・地域安全活動推進員 ・地域防犯推進委員
 - ・防犯推進委員 ・地域安全推進委員 etc
- 警察や自治体が委嘱
- ステッカー表示
- 防犯アドバイザー(安全・安心なまちづくり全国展開
プラン 平成17年犯罪対策閣僚会議)
防犯対策に知見を有する者を登録



自主防犯活動の最後に実施上の留意事項をまとめてみました。
ボランティア保険には是非加入しましょう。防犯と防災の活動の連携と云いますか一体化が必要ではないでしょうか？
何よりも大事なことと私が感じるのは、住民相互の挨拶の重要性です。
挨拶により地域コミュニティが復活し地域再生が期し得るのです。

自主防犯活動実施上の留意事項



- 1 ボランティア保険加入
- 2 防災活動との連携
- 3 誰にでも出来る活動:住民同士の挨拶
- 4 団体間交流、ネットワーク化
- 5 無理のない手段・方法による実施
- 6 多くの住民が参加できる活動内容の設定
- 7 助成制度の活用
- 8 幅広い同憂の士の募集

